

若者と大人のつながりをより豊かにするWEBメディア「生き方百科」を構築する 特定非営利活動法人だっぴ

活動の目的

当法人が実施している「中学生・高校生だっぴ」を通して、多様な大人たちが学校教育に関わっている。その関わりをプログラム参加の1点だけにとどまることなく、多様な関わりしろをつくることで、若者と大人のつながりをより豊かにし、どんな地域にいても、魅力的な大人や生き方と出会い、自分の人生の可能性を広げていける地域を目指す。多様な大人に対して、教育の関わりしろを生み出すことによって、地域コミュニティの再編集と地域の教育力の底上げに寄与したいと考える。そうして再編集された地域の教育力が、学校教育の補完性を持つことで、若者（中高生・大学生）が信頼できる大人やそれぞれの関心にあった学びの機会に出会える地域、豊かな人材育成ができる地域を岡山県内の各地に創り出す。

活動の内容及び経過

とりわけ岡山に関わる様々な大人の生き方を紹介する、若者向けキャリア探究WEBメディア「生き方百科」(<https://ikikata-dappi.jp>)の仕組みの構築を行った。大人は、これまで当法人が実施する「中学生・高校生だっぴ」などのプログラムに参加してくださった方の中から、ピックアップ方法は、当法人が中高生を対象に実施したアンケートを参考に行った。中高生が関心をもっている分野を整理して、いくつかの分野に精通する大人をインタビューーとして選出した。読者対象となる若者は中高生・大学生（岡山県内の大学生をメインターゲット）を想定し、まずは当法人と関わりを持っている層にリーチするところから始めた。中高生とのコンタクトポイントは、中学生・高校生だっぴ実施後、参加した中高生に対して生き方百科への導線となるフライヤーを配布。同時に公式LINEの登録も促進し、生き方百科の情報を定期的に配信できる母集団形成を目指した。

活動の成果・効果

2020年度はひとまずWEBメディアの構築を行うことができた。達成したいことや目指す在り方を考えるプロジェクトチームを発足し、仕組みの全体像や運営体制を検討し続けた。現時点では、①若者が大人とつながる学びの機会②社会に開かれた学校を目指すうえで学校教員だけではつながりきれない人材の見える化としての機能が期待されると仮説生成できた。また、生き方百科へのコンタクトポイントについては、①公式LINE登録者が144人（中高生・大学生）・50人（大人）で、引き続き登録者を増やしていきたい。②学校教育との連携について、いくつかの学校でヒアリングやオンラインイベントのパイロット的实施を行っ



た結果、進路学習のDXを促進する文脈の中で「生き方百科」の展開可能性を見出すことができた。

今後の課題と問題点

今後は、「生き方百科」の魅力化と社会化に取り組んでいく。魅力化という観点では、若者たちが自分のこれからを考える探究を試行錯誤していくためのチャレンジツールとして機能できればと考える。社会化という点では、学校教育との連携を図り、社会教育と学校教育の補完性を高める役割を担いたい。例えば、高校生の進路学習として、多様な大人の生き方を知る百科事典としての役割や、探究学習・地域連携を進めていくうえでの、岡山の多分野の大人を知るための人材バンクのような役割などが想定される。また、持続可能な仕組みを目指すべく、息の長い運営を想定した体制（モデル）づくりを引き続き試行錯誤していきたい。

- 代表者：森分志学 ●所在地：岡山市北区表町
- TEL：086-206-1250 ●E-MAIL：dappi@dappi-okayama.com
- URL：http://dappi-okayama.com
- 設立年：2013年 ●メンバー数：30名